

令和4年度

「市民後見人養成講座フォローアップ研修」を開催しました

令和4年12月12日（月）と令和4年12月20日（火）の2日間に渡り、水戸市福祉ボランティア会館にて、市民後見人養成講座修了生のスキルアップを目的とした「市民後見人養成講座フォローアップ研修」を開催し、平成30年度修了生と令和4年度修了生、合わせて30名の方が参加されました。講師に社会福祉士の安藤隆子氏と市民後見人の山崎徹氏を招いて、安藤氏は「障害のある方の支援を考える～成年後見人の活動をとおして～」、山崎氏は「市民後見人の活動」をテーマにご講演をいただきました。



❄️ 障害のある方の成年後見人等として活動している安藤氏からは、支援をしている方の事例を通して、「人はみな違う、心の支援にマニュアルはない。あるとするならば、あなたのことを知りたいと心で話しかけ、その方の思いに耳を傾けることが大切である。」また、意思決定支援について、「障害が重い人でも必ず意思や意向や気持ちはあるという前提のもとに、伴走者として一人ひとりに合わせたサポートが必要である。また、本人の最善の利益を実現させるために社会資源の収集と活用、関係機関との連携が必要である。」など、日頃心がけていることについて話がありました。❄️

市民後見人として活動している山崎氏からは、インタビュー形式で活動報告をしていただきました。受講生の質問に対して、志望動機のほか、活動の中での、嬉しかったこと、やりがいを感じたこと、また、今後の抱負などについて答えていただきました。

受講生からは「障害のある方への支援の難しさを改めて痛感した」、「事例を交えた内容は理解し易かった」、「具体的な実務など体験談を聞くことができた」、「研修後の知識を繋いでおくことができた」などの感想がありました。❄️



この研修をとおして、判断能力の低下により意思表示が困難な方に対しても、相手を知りたいと思う気持ちと、寄り添うことの大切さを再認識する機会となりました。